

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2024年 1月 24日

事業所名: PARC(パーク)あしや

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	遊具の配置や個室の使用など調整しながら活動に十分なスペースが確保できるようにしている。	・広々としてとても快適だと思います。	利用児童の成長や特性に合わせ、療育室のレイアウト等環境調整を継続していく。
	2 職員の適切な配置	全職員が有資格者で、配置基準に基づき適切に配置している。 療育内容や方針上、どの資格を保有しているかは積極的に公開はしていない。	・手厚く配置数も十分だと思います。 ・どなたが有資格者とか知らない	個々の保有資格については質問があれば回答していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	利用児童それぞれに適切でわかりやすいレイアウト・掲示となるよう情報量の調整等配慮している。	・おもちゃの片づけがしやすいよう、写真入りのラベルで示されているのが良いなと思います。 ・子どもの活動スペースも、保護者の待機スペースも工夫してレイアウトをよく変えてもらえ快適です。	利用児童の成長や特性に合わせ、療育室のレイアウト等環境調整を継続していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	利用者が安全で健康に活動できるよう定時清掃と必要に応じた整理整頓を行っている。	・楽しい感じのする環境だと思います。 ・聞き取りも書類作成も大変丁寧にしていただいていると感じます。	より心地よく過ごしていただけるように随時改善していきたい。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	振り返りの際は全職員で意見を出し合っている。支援計画作成の際も児発管だけでなく全職員で検討できるようにしたい。		原案作成後のサービス担当者会議を充実させていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施なし。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	随時研修に参加したり文献を読んだりするよう努めている。 事業所内勉強会を開催している。		研修計画に沿って研鑽を深めていく。 様々な分野の専門家の話を聞く機会を作る。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	理解したいという思いを持ち、聞き取りを行っている。 何気ない会話が支援のヒントになることがあるので密なコミュニケーションを取り続けていきたい。		よりよい支援ができるように専門的な知識を増やしていきたい。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	利用児童の興味関心や課題に沿った活動を提案するようにしている。	・聞き取りも書類作成も大変丁寧にしていただいていると感じます。 ・普段の会話からもニーズを聞き取っていただけてありがたいです。 ・親も気づかなかった本人の良いところ、あるいは課題を知ることができています。	具体的な手立てを挙げて支援に活かしていく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	利用児童の現状や課題に応じた項目と支援内容を記載するようにしている。		具体的な手立てを挙げて支援に活かしていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個々の子どもの状況や様子に応じて柔軟な支援が行えるようにしている。		利用児童が興味を幅を広げ、様々な分野に関心を持ち主体的に活動できるように環境設定や活動の提示を継続していく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	日常的に職員間のコミュニケーション機会を多く設けている。 ミーティングの中で新しい活動やイベントを検討し実施している。		
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	季節の行事や、利用児童の生活リズムに応じた活動内容となるようにしている。	・イベントを取り入れて下さり、新鮮なプログラムがあります。 ・単に遊ぶだけではなく、ゲームの点数をボードに書くなど、工夫を取り入れていただいています。 ・時々、集団療育も行われるようになりました。	
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	玩具や遊具の配置など環境設定を工夫し、様々な活動に触れられるように配慮している。		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼時に役割の確認を行い、療育内容については記録も活用しながら共有している。		継続していく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	記録の徹底と、気になった点やすぐに共有すべき内容は随時話し合い共有するようにしている。		継続していく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	利用児童のありのままの姿を記録できるようにしている。 事例検討会などで支援内容や目標の確認、改善に努めている。		継続していく。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年ごとのモニタリングと計画更新に加え、必要時にも更新するようにしている。		継続していく。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参加	会議前には事業所内での様子や療育経過について意見をまとめておき、児童発達管理責任者が参加している。		継続していく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当児童の利用無し。		継続していく。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当児童の利用無し。		継続していく。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	地域の学校との関係が構築できており、随時情報共有している。		継続していく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	地域の学校との関係が構築できており、随時情報共有している。		継続していく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	随時連携し、研修にも参加するようにしている。		研修参加の機会を増やしていく。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	個別療育をメインにしている所以他機関の児童と交流する機会は特に設けていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もしかしたら交流があることがあるかもしれませんが、自分の子どもがそういう機会に居合わせたことはありません。</li> <li>・そのような機会があるのは、これまで知りませんでした。</li> <li>・学校で交流しているので、必要性は感じていません。</li> <li>・特に希望はありません。</li> </ul>	要望があれば検討する。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の作品展などに参加し、事業所や療育の内容を紹介している。		継続していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に行っている。変更点は文書を掲示している。		必要に応じて丁寧な説明ができるようにしていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	実施している。		継続していく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	相談支援時に特性についてお伝えしたり、手立てを検討しながら助言できるようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加をしていないのでわかりません。</li> <li>・こちらから相談すれば時間を取って支援法等を教えてください。</li> </ul>	相談支援時に助言を行うことを継続しながら、保護者会などの開催を検討する。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳にて毎回健康状態や生活の様子を共有していただいている。保護者同伴であるため直接お話を伺う機会も作っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談しやすいです。</li> </ul>	些細なことでも共有し合える関係性を構築していく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談支援時に特性についてお伝えしたり、手立てを検討しながら助言できるようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的にご相談できる機会や時間が5分くらいあればうれしいです。</li> <li>・子どもについては、気になることを相談した際には、いつも親身になって聞いていただいています。</li> </ul>	相談していただきやすい環境づくりができるよう声掛けを行って行く。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナ禍で実施できていなかった保護者会を今年度は一回実施した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加したことは無いですが、不定期であるようです。</li> <li>・父の会はあったので、母の会もお願いします。</li> <li>・メンズ会(パパの会)をまた開催していただきたいです。</li> </ul>	今後も随時開催できるようにする。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	意見箱、相談窓口の設置をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情申し立てをしたことが無いのでわかりません。</li> <li>・苦情が無い</li> <li>・苦情は無い</li> <li>・苦情を行ったことが無い</li> </ul>	継続していく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	障害の有無に関わらず、ご理解いただきやすい伝達方法に柔軟に対応できるようにしている。		継続していく。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月に一度「PARCだより」を発行している。療育スケジュールはカレンダーを毎月お渡ししている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パークだよりは毎回楽しみにしています。季節の行事や発達を促す遊びなど、親の私も知らなかったことが分かり、嬉しいです。</li> </ul>	事業所の出来事やお知らせをお伝えできるようなたよりを作成していきたい。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	規則に従い適切に取り扱っている。安心して過ごしていただけるよう配慮していく。		継続していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	職員間で共有している。		保護者にも周知できるようにしていく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	警察署と連動し、防犯訓練を実施した。防犯、感染症、災害対応訓練を毎月実施している。		継続していく。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	研修に参加している。		継続していく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	基本的に身体拘束を行うことがないため、行政に確認を取った上で支援計画には記載していない。		必要時には保護者と本人に理解し安心していただけるような説明を行っていく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食事の提供は行っていない。		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例集を作成し、事業所内と社内で共有・検討している。		継続していく。